



Pearson



語学研修プログラム
での従業員のエンゲ
ージメントを高める

確かな5つのヒント

pearson.co.jp/pearson-online-english



はじめに

エンゲージメントの向上は、組織の人材開発に携わる全ての人にとって共通した課題です。

昨今、この課題はかつてないほど重要になってきています。新型コロナウイルス感染症は、ブレンド学習や完全オンライン学習への移行を急速に加速させており、新しい働き方や学習方法への移行は、日本における新たなパラダイムとなる可能性が高いからです。

しかし、学習が行われているとき自分がその場にいない場合、人事担当者はトレーニングプログラムが効果的かどうかをどうやって知ることができるのでしょうか？なぜうまくいくプログラムもあれば、失敗するプログラムもあるのでしょうか？集中を阻害するものが他に多く存在するリモートワークの環境で、社員の集中力とモチベーションを維持するためには、どのような工夫が必要なのでしょうか？

最近の世界的な調査¹によると、パンデミック後の現在の状況において、人材開発の担当者にとって最も差し迫った戦略的優先事

項は以下の通りであることが示唆されています。

- 学習効果をより正しく評価する
- エンゲージメントを高める
- 自律型のオンライン学習を可能にする

トレーニングプログラムを成功させるためには、エンゲージメントを高めることが重要であることは明らかです。単一の特効薬はありませんが、人材開発担当者と従業員双方が目標をより早く達成できるよう、取り入れることができるエンゲージメント戦略があります。結局のところ、適切なトレーニングに投資するには、時間と労力、信頼できる研究、そして投資収益率(ROI)を示すことが必要です。これらの要素を考慮して、従業員のエンゲージメントを低下させないようにすることが重要で、苦戦することなくエンゲージメントをかき立てられるようにすることが重要なのです。

¹ 2020 Workplace Learning Report (LinkedIn Learning)

成果や生産性、従業員満足度の向上に特に焦点を当てたいとき、エンゲージメントの高さが重要になります。

Harvard Business Review の最近の調査によると、職場環境に満足している従業員は、生産性も定着率も高く、競合他社よりも会社に魅力を感じているという結果が出ています。

このeBookでは、語学研修プログラムにおいてエンゲージメント向上に貢献するものは何かについて考察します。エンゲージメントを定義し、語学研修プログラムの導入後すぐにエンゲージメントを高められる、5つの実証済みヒントをご紹介します。

わずか

13%

の従業員しか仕事にエンゲージしていない²

わずか

21%

の従業員しか雇用主に完全にコミットしていない³

わずか

10%

の組織しかエンゲージメントを継続的に測定していない⁴

わずか

15%

のマネージャーの時間しか従業員のエンゲージメント促進に費やされていない⁵

一方

50%

の向上が見られるのは、トレーニングプログラムにマイクロラーニングを追加した時⁶

² Gallup: State of the Global Workforce; 2017

³ Association for Talent Development: Latest Stats on Global Employee Engagement Trends

⁴ HR.com The State of Employee Engagement in 2019

⁵ LinkedIn 2019 Workplace Learning Report

⁶ Shift Learning Numbers Don't Lie Why Microlearning is Better for Your Learners (and You too)

エンゲージメントの観点から 語学研修プログラムの成功を 定義する

従業員のエンゲージメントとは、従業員が仕事を完遂し、組織の目標を達成しようとする熱意、意欲、コミットメントのレベルのことです。

語学研修プログラムでは、多様性やインクルージョン、業界に特化したトレーニング、興味深く実社会を反映した内容など、より本質的な要素も従業員のエンゲージメントに影響を与えます。従業員のエンゲージメントほど、企業の財務健全性と収益性に影響を与えるものではありません。最も成功している企業では、語学研修プログラムで学習者のニーズに合わせてパーソナライズされた指導を提供し、モチベーションを維持しています。人事管理者や人材開発担当者にとって、従業員を成功に導くことは会社の成功を保証することでもあります。

従業員のエンゲージメントを
高める5つの方法をご紹介します
ていきます



1. 目標を念頭に置いて始める

有名な心理学者のフィッツヒュー・ドッドソンの古い格言のなかに、「目標とそれに到達するための計画がなければ、あなたは目的地なく帆を張った船のようなものである」という、現代にも当てはまる言葉があります。

どんな会社も、最終目標を考えずに語学研修プログラムを立ち上げるべきではありません。そして、最終目標よりも重要なのは、そこに到達するための計画ではないでしょうか。別の言い方をすれば、社員は英語を学ぶべきだという考えだけでは十分ではないということです。

まず、組織の目標を考え、そこに到達するための計画を段階的に立てていきましょう。チームリーダーは、組織内で、語学研修プログラムの成功基準についてコンセンサスを得る必要があります。成功の指標の例としては最低学習時間数の達成度、期待値に対して習熟度向上がどれくらい達成されたか、満足度調査の平均点、職場での言語使用の証拠などが挙げられます。例えば、プログラム管理者は、体

例えば、プレゼンテーションが自信を持って行えるようになる、エラーのないメールを送れるようになるなど、体系化された計画があれば、英語力の向上によってそのような目標が達成できるよう、プログラム管理者は従業員を支援することができます。明確な目標が設定されていれば、従業員はプログラムに参加し続け、目標を達成する可能性が高くなります。





2. 従業員にインセンティブを与える

インセンティブは、従業員が長期的に語学研修プログラムを継続する手助けとなります。

参加者との定期的なチェックインを継続的に行うことで、個々の従業員にとってより効果的なインセンティブの種類について、直接フィードバックを得ることもできます。

従業員のプログラムの進捗状況をパフォーマンスレビュー、全社的な表彰、認定証、賞などに結びつけることを検討しましょう。オフィス内の見えるところにスコアボードを設置することで、学習者同士の切磋琢磨を促すことができます。健康とウェルネスのためのプログラムを提供することも、エンゲージメントを高める方法の一つです。組織にもよりますが、金銭的な報酬や昇進の機会を従業員の

やる気を促す成功法として検討してみましょう。

最近のケーススタディとしては、王子グループ傘下で世界的な大手パルプメーカーであるCENIBRAの語学プログラムでの成功事例があります。従業員のエンゲージメントを高めるために、CENIBRAは従業員のパフォーマンスを一貫して追跡し、パフォーマンスの高い上位5名の従業員を毎月のニュースレターで表彰しています。また、他の従業員の努力を支援するために、毎月上位5名の学習者には、1時間のプライベートレッスンを受講できる機会を与え、習熟度を向上させました。

3. マイクロラーニングで 語学研修プログラムを 革新する

マイクロラーニングとは、最も簡単に言えば、情報をより小さく、消化しやすい形式で提供する学習方法です。しかし、マイクロラーニングは、単に手頃なサイズのトレーニングというだけではありません。

マイクロラーニングは、学習者が特定の目標を達成するために必要な情報を、適切な時間に適切な量で提供する、超パーソナライズされた学習方法です。マイクロラーニングは、私たちのワーキングメモリの能力と集中力を活性化し、学習者が特定の目標を達成するのに十分な情報のみを提供します。

大きなインパクトを与えたいと考えている人材開発マネージャーに代わり、マイクロラーニングは短くなった注意力を活用し、従業員のエンゲージメントを高めます。そして、効率的で個別化された指導で従業員の生産性を向上させ、人材開発マネージャーが投資収益率を実証する一助となります。

語学研修プログラムにおいて、マイクロラーニングは従業員のエンゲージメントに決定的なインパクトを与えることができます。実際、Software Adviceのレポートによると、マイクロラーニングは従業員のエンゲージメントを50%向上させるとされています。



4. 柔軟性のあるプログラムを選ぶ

いつでもどこでも勉強できるわけではないという不便さは、従業員が語学研修プログラムに参加することを阻害する一つの課題となります。

多くのグローバル企業では、従業員は様々なタイムゾーンに分散しており、全従業員が同じ時間に学習することはできません。

真の成功のためには、従業員が言語学習を進める上で個人的に練習する時間が必要です。マイクロラーニングの利点と同様に、フォーブスによると、バーチャルレッスンを利用した学習者は、対面のための授業と比較して、自分の学習をよりよくコントロールすることができ、自分のペースで学習を進めることができました⁷。400人近くの従業員を対象に行った調査によると、50%の人が、コースが短ければ会社の学習ツールをより利用すると回答しています。プログラム管理者と従業員は、英語の練習時間の長さについても、共通理解を持つ必要があります。専用のスペースを確保し、従業員が学習できる時間を確保

することは必須です。それ以上に、Webやモバイルアプリケーションを利用して、オフサイトで語学プログラムを利用できるようにすることは、学習者のエンゲージメントを高める明確な方法です。これにより、学習者は昼食時や通勤時間、その他のダウンタイムなど、自分にとって最も都合の良い時間に練習をすることができます。

オンラインで行われる語学練習と同様に、バーチャルなライブレッスンは、従来のモデルよりもアクセスしやすく、学習者の学習意欲を維持しやすく、したがって対面授業よりも効果的です。



⁷ Forbes : Online Education: From Good to Better to Best

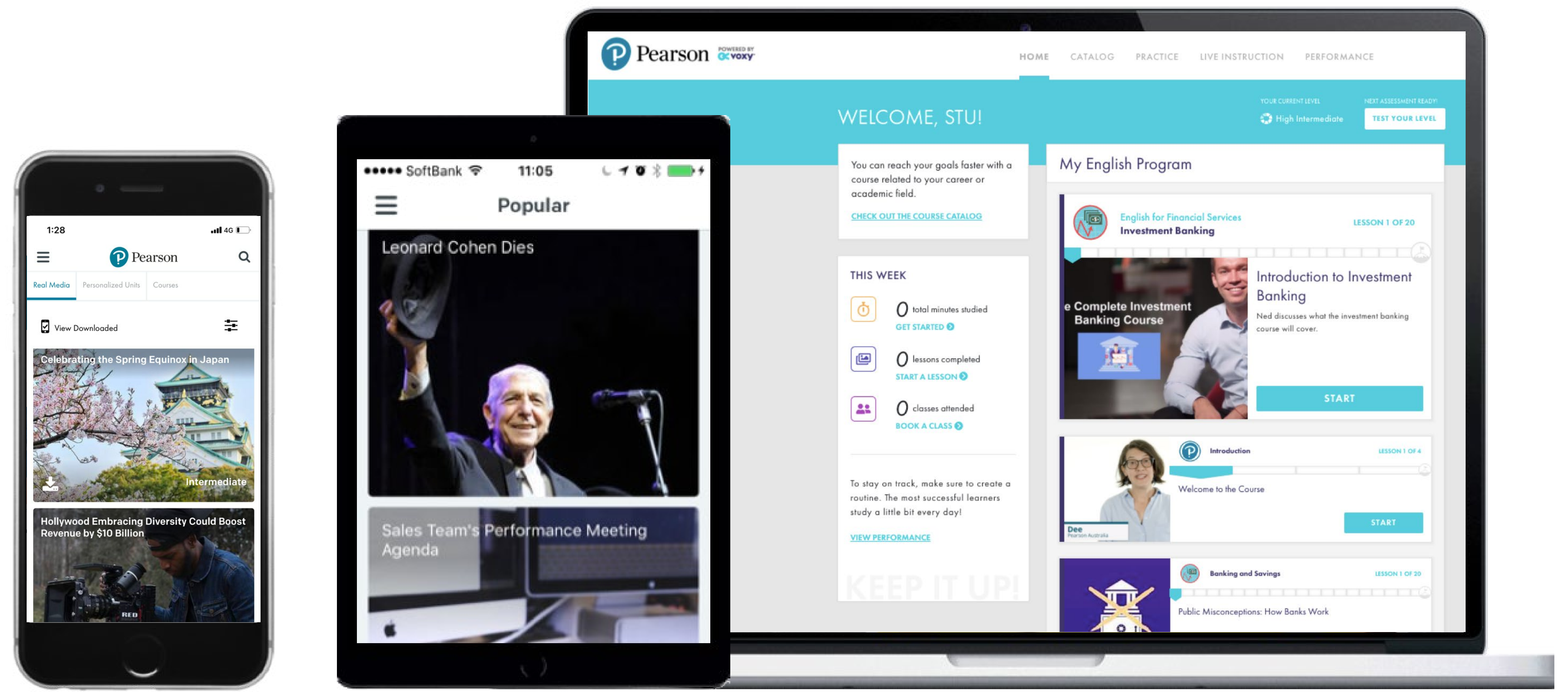


5. パーソナライズされた 実社会のコンテンツを 提供する

**継続は力なり。従業員のエンゲージメントを高めるため、
提供するコンテンツは実社会のシナリオにも
当てはまるものでなければなりません。**

従業員の役割や目標に合わせて、関連性のあるパーソナライズされたコンテンツを提供してエンゲージメントを高めましょう。興味深く、関連性があり、自分の役割にすぐに応用できるコンテンツを使って練習することができれば、語学トレーニングは最高の効果を発揮します。英語学習への関心を高めている学習者は、そうではない学習者よりも確実に継続して学習する傾向が見られます。

語学研修プログラムで提供されるコンテンツは、学習者一人ひとりのニーズや関心に合わせたものでなければなりません。例えば Pearson Online English でも、この要素に重点を置いており、学習者が日々の生活でよく目にするコンテンツ(ニュース記事、ビデオ、ツイートなど)を使って英語のレッスンを行えるようになっています。



語学研修プログラムのあり方を変える

語学研修プログラムを成功させるための5つのヒントをご紹介します。

次のステップとして、Pearson Online Englishをお試しいただければ幸いです。

革新的なウェブとモバイルの言語学習プラットフォームを活用し、実社会で成功するために必要な実践的スキルを提供します。

機械学習アルゴリズムにより、経営者の皆さまの以下の実現をサポートいたします。

- テクノロジー、ファイナンス、ホスピタリティなど幅広い分野の生きた英語コンテンツで、従業員一人ひとりに合わせた学習体験を提供
- インストラクターによるオンラインレッスンや内蔵されたテストにより、従業員が明確な達成感を得られるようサポート
- ビジネス上の意思決定に役立つコーホートデータやパフォーマンスデータへのアクセス
- 従業員のエンゲージメント向上や英語能力の改善、職場での全体的な生産性の向上

Pearson Online Englishは、組織のニーズに合わせて英語力を向上させるオールインワンソリューションです。

デモ版はこちらから

